

計根別農協史上初の全道一位

九月十〜十二日にかけて開催された「2004北海道ホルスタインナショナルショウ」計根別からは十三頭の出品となった。
共進会では、若い世代の活躍により上位入賞牛も数多く、なかでも第四部でハイエストファームの「HEF ジャン ジョーク」が全道を制し、計根別農協史上に残る偉業を成し遂げた。





史上初の
快挙!

ハイエストファーム出品牛が全道1位に 計根別から1等に4頭の大活躍

2004北海道ホルスタインナショナルショー

国内随一の乳牛の祭典「2004北海道ホルスタインナショナルショー」が九月十一～十二日に、早来町の道ホルスタイン共進会場で開かれました。

道内外から約三百八十頭、根室地区からは八月の管内共進会を勝ち抜いて出場権を得た、十勝に次ぐ多頭数の五十七頭を出品。当農協からもこれまでの最多タイ記録となる十一頭を出品しました。

九日に早来入りした当農協の出品牛たち。大きな故障も無く、十一・十二日の審査に臨み、管内共進会の勢いをそのままに、大活躍をいたしました。

初日、当農協で最初に登場したのは第二部でナショナルショウ初出品の須崎智裕さんの「エアロスター ギブソン」。入賞を果たして計根別チームを追い風ムードに乗せました。



初出品の重庄も何のその。須崎さんとエアロスター ギブソン号



第4部1等1席の表彰を受けるハイエストファームの二瓶義則さん

続いての第四部では当農協史上初の喜ばしい結果に。ハイエストファーム出品の「HEF ジャン ジョーク」が第一回目のトップでの引き出し後、そのまま序列を保ち、当農協の悲願でもあった全道での一等一席に輝きました。

前の部の喜びも覚めやらぬうちに開始された第五部では、今年初めて管内共進会を制し、念



初出品で見事1等入賞を果たした
漆原さんとキャツプ アスター号



ジュニア3歳1等3席の
SF.ヒンペルカウトリリック号と
星野さん



5歳クラス1等4席のサベージ セルマ ルーテル
(サンハイファーム)の勇姿

願の全道初出品を果たした漆原
俊之さんの「ラツキーファーム
キャツプ アスター」も見事に
一等五席に入賞。第六部でも、
本田正志さんの「ラデュック
コピア」が入賞を果たしました。
初日の締めくくりは第九部、ジ
ュニア三歳クラスの星野淳さん
出品の「スターフィールド ヒ
ンペル カウト リリック」。
一等三席を獲得。出品した八頭
のうち、惜しくも三頭は入賞を
逃がしたものの一等入賞三頭、
二等入賞二頭と、最高の形で初
日を終わりました。

審査二日目も出品した経産牛
三頭すべてが上位入賞。第十一
部の四歳クラスの「Bデリア」
（本田勉さん）、第十三部、成年
クラスの「チャーリー シーク」
（サンハイファーム）の二等入
賞はもちろん、第十二部、五歳
クラスにサンハイファームが出
品した「サベージ セルマ ル
ーテル」が一等四席を獲得しま
した。

現在、計根別農協乳牛改良連
合会の会長を務めるハイエスト
ファームの二瓶義則さんは「全



ハイレベルだった第6部の2等5席は立派。
本田正志さんとラデュック コピア号（左）



4歳クラス2等3席と上位入賞の
Bデリア号と本田 勉さん

道の一等一席という共進会を始
めたところからの大きな夢の一つ
を叶えることができ、すごく嬉
しいが、今の計根別の若い人た
ちの共進会に対する盛り上がり
が、この結果につながるという
んだと思えることの方がもっと
嬉しいですよ」と話しています。

2004北海道ホルスタインナショナルショー出品結果

主任審査員：高橋 茂氏(社)家畜改良事業団十勝種雄牛センター場長

第2部	2等6席(12位)	BYエアロスター ギブソン	須崎 智裕
第4部	1等1席(1位)	HEF ジャン ジョーク	ハイエストファーム
第5部	1等5席(5位)	ラツキーファーム キャツプ アスター	漆原 俊之
	3等6席(19位)	メモリー レーシスト ジョーダン	北村 篤
第6部	2等5席(10位)	メルテイリツジ ラデュック コピア	本田 正志
第7部	3等3席(24位)	スターフィールド ヒンペル タブ クレスト	星野 淳
	3等10席(31位)	HEF リーエス アリシア ET	ハイエストファーム
第9部	1等3席(3位)	スターフィールド ヒンペル カウト リリック	星野 淳
第11部	2等3席(9位)	ケネカランド ライアン B デリア	本田 勉
第12部	1等4席(4位)	サベージ セルマ ルーテル	サンハイファーム
第13部	2等4席(9位)	サンハイ アイデアル チャーリー シーク	サンハイファーム

第8回別海町駅伝競走大会



青年部チームのアンカーを務めた
第6区 中村 正博くん



青年部・職員チームの
第6区 斉藤 浩平くん



選手たちの健闘により 参加2チームが見事に完走

九月二十三日、今年で三度目の参加となった「第八回別海町駅伝競走大会」。当日の天候は、前日まで降り続いた激しい雨もウソのように晴れ渡り、絶好の駅伝日和となった。

駅伝大会に参加したチーム数は、前年より四チーム減の二十一チーム。JA計根別では青年部員、職員十三名により結成された「JA計根別青年部」「青年部・職員」の二チームがエントリー。鈴木直良（西竹）監督のもと七月からの練習成果が発揮され、初の入賞（六位）も期待されました。しかし、大会前になってケガにも悩ませれ、足のツメを割る部員、軽い肉離れとなった部員などで苦しい戦いとなった。

ケガとも戦う過酷な駅伝。不安な面持ちの選手たちが各スタート位置へ移動。午前十時のスタートとともに緊張が高まった。スタートと同時に遠軽・釧路自衛隊、帯広畜産大学が圧倒的な速さにより他チームを翻弄。第五区になって十七チーム

が繰り上げ発走を誰もが予想した。しかし、残り数分で各チームがタスキを片手に続々と第五区に駆け込んできた。そのなかにJA計根別の二チームも加わり無事完走することができた。結果は、青年部チームが十一位、青年部・職員チームが十九位となったが、選手たちの頑張りには大きな拍手を送りたい。

【JA計根別青年部】

- 一区 5.5 km 穴戸 洋行(大成)
- 二区 4.6 km 遠藤 慎也(養老牛)
- 三区 4.5 km 杉本 聡史(西竹)
- 四区 6.4 km 柵木 知也(西竹)
- 五区 4.7 km 河本慎太郎(大成)
- 六区 7.6 km 中村 正博(養老牛)

【青年部・職員】

- 一区 5.5 km 高橋 顕吾(大成)
- 二区 4.6 km 久保 拓伸(上標津)
- 三区 4.5 km 鈴木 直良(西竹)
- 四区 6.4 km 村井 和史(中標津)
- 五区 4.7 km 深見 亮(職員)
- 六区 7.6 km 斉藤 浩平(大成)
- 補 欠藤田 恒久(職員)



繰り上げスタートの不安を抱えた
第5区スタート地点



皆の気持ちをつにして「気合いだーっ。」



開会式で緊張した表情の選手たち



専用棚を設置して、搾乳器材を整理整頓

H16 良質乳生産共励会

農場環境審査会



芝生の整備で景観もバツグン!!
(ハイエストファーム)



綺麗に管理された既存牛舎
(影山健一牧場)



環境美化を意識した大きな花壇
(西崎真澄牧場)



畜舎周辺の優れた環境整備
(坂地定義牧場)

JA計根別酪農技術向上対策委員会では、より安心な生乳生産環境の維持、向上、より安全で高品質な生乳生産、出荷を目的として八月十九日に農場環境審査会を開いた。

当日は、関係十二団体、約四十名が参加。組合員全戸を対象として十八班編成により審査会が取り進められた。審査内容は、生活環境、生産環境、生乳処理室に分けて厳正な審査が行われ、さらに、本年は糞尿処

理法の施行に伴い現状の糞尿処理及び管理内容が調査された。

農場審査会に参加された委員さんからは、「牛舎周辺の環境整備に対する意識が年々向上している」、「処理室周辺のアスファルト整備が進み、衛生的な集乳環境が整備された」、「古い施設でも綺麗に管理されている事例も多かった」などのコメントがあり、組合員皆様のご努力と意識の高さが評価された審査会となった。



花と芝生で見事に整備された庭先
(渡辺安二牧場)



とても衛生的に管理されているパーラー内
(下川原幸男牧場)



牛乳集荷道路も整備が進みました
(中田富夫牧場)



衛生的な処理室内
(喜来信一牧場)

スタンド建設工事 地鎮祭が終了



地鎮祭には、農協役員をはじめとする関係者約40名が出席



地鎮祭で挨拶を行う南嶺組会長



スタンド建設工事の安全を祈願

八月二十三日、計根別農協ではスタンド建設工事に係る地鎮祭が行われ、工事の無事を祈る関係者約四十名が集い盛大に開かれた。地鎮祭では、組合長が挨拶「立派な建物を建設されるとともに工事の安全を祈願する」と話された。

スタンドの完成は、平成十六年十一月中旬となり、現在のスタンドも洗車場へと改修工事が進められ、最終工期は十二月上旬が予定されています。スタンド完成後は、広い敷地にて各種イベントも考えられておりサービス面でも充実した事業が展開されることと思えます。

川崎市児童と養老牛小中学校が親善交流 養老牛にて農業体験学習



対面式では、すこし照れた表情の子供たち



寺坂牧場にて本人自らがパーラー内を説明



激励のこぼを贈る味元くん

中標津町と姉妹提携を結ぶ川崎市の小中学生が交流事業「ふれあいサマーキャンプ」を通じて八月二十三日～二十六日の四日間にて養老牛小中学校を訪れ親睦と交流を深めました。交流事業は、二班に分かれ寺坂信秀さん、株田宏さんそれぞれの牧場



その後、養老牛小中学校へと移動し、ドッチボールで大ハシヤギ。やっぱり遊ぶことが大好きな子供たち。最後の締め括りは養老牛温泉でのひとときを楽しみ、夏休みのいい思い出となったのではないのでしょうか？

で行われ、両校の生徒が対面式にて激励のこぼ、お礼の挨拶が交わされ、農業体験学習として牧場見学が行われた。川崎市児童は見るもの全てが初めての体験となり、牛舎へ移ると牛舎の大きさ、牛の多さにビックリ。「へえー？はあー？」と驚くばかりの子供たち。しかし、育成舎では子牛を見た途端「子牛だ！カワイイ！」と子供たちの大半が記念写真を撮っていました。また、寺坂さんの好意でエサ給餌体験を行ったところ川崎児童はもう大喜び。でも地元子供たちは何故か知らんぷり！

東北・北海道地区JA組織リーダー研修会に参加して

JA計根別 女性部 部長 水沼 和子



リーダー研修会の壇上で 地区女性協 横田会長

八月二十六、二十七日にかけて、「二〇〇四年度東北、北海道地区女性組織リーダー研修会」が山形県上山市のかみのやま温泉「古窯（こよう）」で開かれました。本研修会は「JA女性かわろつ、かえよう宣言を掲げて…」を全体テーマにJA女性部、フレッシュミズの代表者約三〇〇名が集まりました。

初日は、山形県商工労働観光部振興部課長正木氏の記念講演「おいしい山形、観光一体の地域おこし」と題し、メジャーでない県の知名度を上げるために、農業は最高の観光資源と位置づけ、様々なキャンペーンを展開し、少しずつではあるが確実に成果を上げている事例が紹介されました。

その後は、分散会となり「食と農」「共同参画」のテーマをもとにそれぞれ行われ、私は「食と農」に参加しましたが、これが大失敗。私はつきり食の安全・安心や食育などについて話し合うのかと思いましたが、しかし、提言者が産直の話しを始めてしまったので、それに沿った話題が中心となりました。参加したほとんどの方は産直をしている人たち（道内は二名の参加）ばかりで、自分たちの作った物をいかに販売するのか？などに意見が集中。私たちも消費者の立場として「減農薬の野菜などが見直され少々高くても買っている」などの話しをしました。が、反対に「無農薬、減農薬の野菜を作るのがいかに大変か？また曲がったキュウリ、虫のついた野菜などは買ってくれないので減農薬とくに無農薬野菜など無理な話し」とまで言われ、何となく腑に落ちない分散会となりました。

しかし、夜の交流会では開催地である山形女性部の皆様に心のこもったおもてなしをうけ、大変盛り上がった交流会となりました。

二日目は、組織活動体験発表が（道、県あわせて七名の代表者）があり、北海道代表のJAとまこまい広域女性部の宮西純子さんの「味噌づくり繁盛記」と題し「おふくろみそ」づくりで町やJAを動かし加工所を建設。年間二十五トンのみそを販売するまでになった



記念講演を熱心に聞く参加者。この中に当JA女性部 水沼部長も...

活動事例を発表し最優秀賞に輝きました。来年は、東北・北海道の代表としてJA全国女性大会に出場します。宮西さんには駒大苫小牧高校同様に全国大会でも最優秀賞をと願っております。また、申し合わせの採択（内容は後日）をし、JA女性の歌「明日を輝くために」を斉唱し、次の開催地である福島県の会長さんにより「来年もまたお会いしましょう。待ってます」の言葉で閉会となりました。大変ハードな日程でしたが仲間もたくさんでき充実した二日間でした。

第30回北根室地区農村女性講座を開催します

とき：平成16年11月8日(月) ところ：中標津町総合文化会館「しるべつと」

主催：北根室地区農業改良協議会、普及センター

元気なおじいちゃん、おばあちゃんの紹介

手つなぎの会



大成地区 斉藤 スイさん (93)

大成地区で手編みカゴ、カバンづくりを楽しむ元気なおばあちゃん、斉藤スイさんをご紹介します。

大成地区斉藤長市さん（元乳検検定員）の母親である斉藤スイさんは、福島県出身。明治四十五年二月生まれの九十三歳。

スイさんの日課は、午前中に手編みのカゴづくり。テレビドラマが大好きなスイさんは昼食後の「昼メロ」は欠かさず、カゴづくりとテレビドラマに明け



色鮮やかな配色で作り上げられた「手編みカゴ」



メガネもかけずにJA広報誌を読むスイさん

暮れる毎日を過ごしています。手編みカゴも今までに二〇〇個以上を作り、地元の老人会や町内会の皆様に配っているそうです。

手編みカゴを始めたのは十年前。もともと編み物が好きだったスイさんは、地元の知人から手編みカゴを習ったことがきっかけのようです。新聞やダンボールを梱包するビニールヒモを再利用し、カゴの配色まで考えて手編みカゴを作っています。

今では、九十三歳となり、何事もよくよしないことが長生きの秘訣」と話すスイさん。病院にも通うことなく、薬も服用せず、何でも食べる元気なおばあちゃん。メガネが無くとも何とか新聞も読めるのには驚きです。これからも趣味の手編みカゴを作り長生きしてください。

旭新老人グループ十二名で

養老牛温泉前の交差点に花壇を設置

養老牛の旭新老人グループでは、養老牛温泉前の交差点に今年で四年目となる花壇を設置した。

この花壇は、当時に行われた道路工事により交差点路肩に歩道の空きスペースが出来たことから始まった。

そこで、地元老人グループが立ち上がり、養老牛温泉へ向かうメイン道路を花で飾ろうと十二名の同志が集まった。



無数のコスモスが路肩を埋め尽くす



綺麗に整備された交差点脇の花壇

花壇の設置には、地元組合員の協力により花が提供され、肥料や種は老人グループ自らが持ち寄り毎年五月に整備されています。夏場は、毎日の水撒き、ときには雑草駆除も行っています。続きます。

今では、観光客も交差点付近で立ち止まり記念写真を撮り、自分たちもゲートボールを楽しむ傍ら花を眺め、心やすらぐひとときを満喫しています。

来年の花壇は、全面にコスモスを植える予定であり、道行く人の目を楽しませてくれることと思います。



鉄板の準備が完了



ハンバーグの材料を投入



形も整い、あとは焼けるのを待つだけ

ジャンボハンバーグと牛乳配布で 消費拡大をPR

中標津商工会、J A 中標津青年部が主催となり九月五日にゆめの森公園・翼とふれあいゾーンにて「じゃがいも伯爵まつり」を開いた。

当日は、天候にも恵まれ秋の味覚を求めて数千人の来場客で賑わい、じゃがいも掘り、焼肉、キヤラクターシヨウなどに人気を集めた。

当日、参加の依頼を受けた地区青協では、子供たちに「もつと酪農を知ってもらおう」と子牛や実寸サイズの乳牛模型を会場に設置。牛を触り、模擬搾乳を体験した子供たちは大満足。極めつけは子供たちのヒーロー「デカレンジャー」による牛乳の消費拡大PRが行われ、親子ともども宣伝効果はバツグン。

当農協青年部も地区青協を通じてジャンボハンバーグ三〇〇食を販売。牛乳配布も同時に行い大盛況のもと消費拡大を呼び掛け、予想以上の成果を挙げることとなった。



会場には子供たちのヒーロー「デカレンジャー」が牛乳消費拡大をPR

晴天にも恵まれ今年も大好評となったジャンボハンバーグ



ジャンボハンバーグの人気に関西テレビの取材陣が...

九月十八日、今年も盛大に開催された「別海産業祭」。

当日は、秋晴れのなか天候にも恵まれ大勢の来場者で賑わいました。

当青年部は、例年どおり「ジャンボハンバーグ」を出店。用意した約五〇〇食のハンバーグを買い求める来場者でテナント周辺は大騒ぎ。さらに、関西テレビの取材陣も押しかけ、初めて見る巨大ハンバーグに驚嘆。レポーターの派手な演出効果もあり、九月二十三日に放映される映像が楽しみです。しかし、残念なのは関西エリアで見ることができない番組に青年部員も少々ガッカリ。

別海産業祭でも人気を集めた「ジャンボハンバーグ」。あの関係者から「来年に向けてハンバーグの量を増やして欲しい」との要望もあり、次年度への嬉しい悲鳴となりました。



今年も長蛇の列となったジャンボハンバーグ

シリーズ第7弾 逸品館

今月は、シリーズ始まって以来の珍しい逸品「ツリーハウス」をご紹介します。そのオーナーは、仕事も一生懸命、遊び心も旺盛な養老牛地区の山本照二さん。

このツリーハウスは高さ4mの所に設置され、多目的な用途を兼ね備えた山本さんだけの秘密基地。夏場の放牧時期には牛を観察し、プライベートで本を読んだり、少々お酒を飲んだりとか…。ときには、子供と一緒に寝泊りすることもあり、綺麗な景色を眺めながら楽しいひと時を過ごしているそうです。

最後に、アウトドアを愛する一人としてマナーも心得ており、「自然のものを傷めず、そのままの状態を残し利用するのが常識」と話す山本さん。近い将来に二棟目の「ツリーハウス」が完成するのを楽しみにしています。

忙しい時期にもかかわらず取材にご協力して頂きました山本照二さん本当にありがとうございました。



ツリーハウスに設置されたテント



下にはプランコとハンモック



カラマツ林の中には本人だけの秘密基地



ツリーハウスから放牧地を見ると



オーナーの山本照二さん

ツリーハウス

- 設置時期 平成15年10月
- 価格 約10,000円（ロープ代）
- キッカケ カラマツの廃材が沢山あり、何かを作ろうと思った
- 苦労話し 高い所に重い木を運んだこと
- その他 近い将来、もう少し大きなツリーハウスを作りたい（ツリーハウスを作っている時が一番楽しいそうです）

THE FRIEND CONNECTION

久保 拓伸(上標津支部)
S53.2.14 26才

- Q1. あなたの趣味・特技は？
- A1. 柔道三段、ビデオ鑑賞？
- Q2. 就農したキッカケは？
- A2. 親との約束期限が切れた！23歳まで
- Q3. 今、欲しいものはありますか？
- A3. キャビン付きのトラクター
- Q4. 今、興味のあることは？
- A4. 新しい「技」
- Q5. 将来の目標は？
- A5. 4年後の北京オリンピックをゆったりとテレビ観戦できるよう楽をしたい
- Q6. あなたの夢は？
- A6. 金メダル
- Q7. 友達を紹介してください。
- A7. 養老牛支部の遠藤慎也くんです。

Q1 拓伸くんの後ろには何人の仲間が写っているでしょう？



大人も子供も 大満足だった遊園地

計根別支部青年活動

八月十二日、計根別支部では部員とその家族みんなで親睦を深めようと子供も喜ぶ遊園地「若松ファミリーランド」で家族親睦会を開いた。

当日は、天候にも恵まれ車五台に九家族が集まり、合計二十四名が参加した。ファミリーランドでは、焼肉と乗り物で楽しい一日を過ごし、初めての乗り物にビックリする子供たちや食べ過ぎてジェットコースターに乗り気分を悪くする部員もいるなどのアクシデントが続出。しかし、大人も子供も大きな悲鳴を上げて盛り上がり、参加者も遊園地で大満足。大好評となった家族親睦会「また来年も企画したい」と役員の喜らくん、岡部くんが話していました。



遊園地で大満足の子供たち!!



焼肉を囲んで計根別支部のファミリーも大喜び!!

大豊作となった 無農薬ジャガイモ

収穫したジャガイモを片手にメンバーで記念撮影



えふ・すういーるでは、例年参加している農協「オータムフェア」に自分たちで栽培した無農薬野菜を食べてもらおうとメンバー宅の野菜畑にジャガイモを作付け。収穫適期を迎えた九月二十四日に無事収穫作業を終えた。

収穫したジャガイモは約二〇〇kg。夏場の天候も良く、予想以上の収穫量にメンバーもビックリ。無農薬で栽培されたジャガイモもオータムフェアではどのように調理され提供されるのか?が楽しみです。

さらに、調味料として手作りバターが使われる予定であり、心のこもった一品が会場に...

計根別神社祭



カラオケ大会を盛り上げた張本人



チビッコ相撲 “ガンバレ!!ガンバレ!!”



子供神輿でワッショイ!!ワッショイ!!



東会の子供たちがピカチュウを一生懸命踊りました



西和会の子供たちも氣志團でノリノリ!!



旭会の “スパイダーマン”、右から2番目は何でしょう?



計根別地区の若い衆で “牛・牛・モー・モー 牛・モー・モー”



カラオケ大会を盛り上げるギャラリ

計根別神社祭実行委員会、氏子総代会では、本年も計根別神社例大祭を九月十一、十二日の二日間にわたり盛大に開いた。

例大祭の初日は、宵宮祭の素人演芸大会からスタート。この素人演芸も歴史を重ね、今では何ヶ月も前から準備に取り掛かるところもあるようです。また、参加する町内会ごとに年齢層もさまざまであり、老若男女問わず神社祭を盛り上げていました。

二日目の本祭では、朝八時半より神社境内にて宝探し、チビッコ相撲が行われ、元氣溢れる子供たちで賑わいました。さらに、正午からは本祭のメインとなる祭典パレードにより山車と御輿が市街を回り、地域の皆様を楽しませた。

神社祭の締めは恒例となる神社境内演芸場での民謡・カラオケ大会。この日のために日頃から鍛えた自慢の歌声が披露され、地元のカラオケ愛好家十数名が熱唱。さらに、今年は若い世代の飛び入り参加も目立ち、演芸場前では歓声と拍手の渦が起こり、なかにはステージ、境内で踊りだす観客もいるほどでした。



念願の初優勝を飾ったJA計根別

第4回根室管内JA役職員
ミニバレーボール大会



根室管内農協役職員会では、役職員の親睦を深めようと今年で四年目を迎えるミニバレーボール大会を九月二十六日に中標津町交流センターにて開いた。一昨年の大会では、

準優勝の経験はあるものの、昨年は四位に終わったJA計根別。今年は、地元開催ということもあり、職員の意気込みも強く二ヶ月前から週二回の厳しい練習を重ねた。大会当日は、管内JA及びJAグループから十三チームが参加。計根別からは職員二十三名の二チームがエントリー。予選リーグを勝ち残った計根別Aチームを含む四チームが決勝リーグへと進んだ。

決勝リーグ（準決勝）では、昨年優勝チームの中春別Aチームと対戦。持ち前の粘りと根気で第一、二セットを連取、決勝へと駒を進めた。決勝戦は、昨年の予選リーグで敗退となった宿敵標津Aチームとの一騎打ち。第一セットは先取したものの、第二セットを落とす。むかえた第三セット、緊迫したゲーム展開が予想されるなか、小さなミスも試合に大きく左右されるほどのシーソーゲーム。しかし、チーム全員の頑張りでJA標津を抑え込み、昨年の屈辱を果たし見事に念願の初優勝となった。



加工品や野菜など安価で販売

～ 農業高校が第3回収穫祭～

中標津町民の方々に、農業高校の製品・活動を広く知ってもらいたく、今年で3回目の収穫祭を企画しました。この収穫祭では安価で新鮮な農高生手作りの製品をたくさん用意しております。是非、会場へお立ち寄り下さい。

とき / 平成16年10月15日(金)

ところ / なかまっぶ(中標津経済センター)



販売内容

- 肉加工品～「知床らうす深層水」使用の肉製品は中農オリジナル商品です。是非、ご賞味下さいませ！
ウイナーソーセージ・ビーフジャーキー・羅臼昆布ソーセージ ほか
- 乳加工品～まったり美味しい中農乳製品をどうぞお召し上がり下さい。
ゴダチーズ・バニラアイスクリーム ほか
- 農産加工品～登場!!地元原料使用「イチゴジャム」「ブルーベリージャム」
計根別羊羹・ジャム(イチゴ・ブルーベリー)・カップケーキ ほか
- 野菜～ふぞろいで、数が限定されている野菜達ですが一生懸命育てました。めっちゃうまいッス！
ジャガイモ・ハクサイ・キャベツ ほか
- 花～農高生が丹精込めて育てた鉢花です。
シクラメン・ナデシコ・ニューギニアインパチェンス・ペコニア ほか
- 鉄加工品～完全ハンドメイドですので、同じものは2度とできません。
チャリンコくん・その他フラワースタンド ほか
- その他～コーヒー牛乳の無料配布・焼き鳥

問い合わせ / 北海道中標津農業高等学校 電話 8-2053



北根室管内シバムギ注意報!!

あなたの草地はシバムギ畑になっていませんか？

最近、チモシーにとって代わってシバムギが目立つ草地をよく見かけます（写真）。



チモシー（ ）に混じるシバムギ（ ）

チモシーとシバムギは出穂するまでは、草姿が非常によく似ていて判別しにくい草種です。

自分の草地に生えているのはチモシーだと思っていたら、実はシバムギばかりだった、ということがよくあります。

チモシーの見分け方

シバムギとチモシーの見分け方は、葉の付け根部分に違いがあります（図一）。チモシーには葉舌（ようぜつ）という白い膜が付いていますが、シバムギにはありません。対してシバムギには葉耳（ようじ）という鎌形のヒゲが出ていますが、チモシーにはありません。

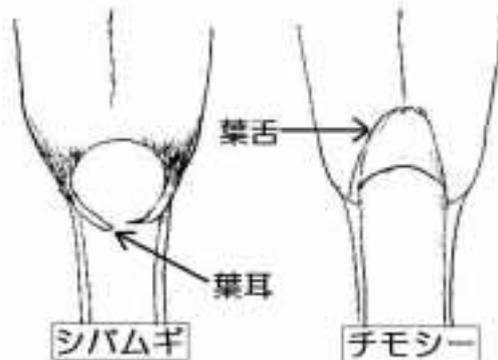


図1 葉の付け根で見る判別方法

判別部位	葉舌	葉耳	種子以外のふえ方
シバムギ	ない	ある	地下茎
チモシー	ある	ない	分けつ(株)

シバムギの草地

シバムギが優占した草地のサイレージの栄養価は、チモシーのそれと比較すると歴然と劣ります（図二）。つまり同じ草地から採れる収量としては大差がなくても、栄養収量として考えた場合に大きな差が出てきます。

シバムギは地下茎で増殖するため、一度

草地全体に広がってしまうと、駆除が厄介な雑草です。そうになると、ラウンドアップ等（グリホサート系除草剤）による前植生処理が必要になります。

シバムギ対策

したがってシバムギやリードカナリグラス等の地下茎型雑草を侵入させないよう、チモシーやマメ科牧草の密度を保つことが大事です。そのためには定期的な石灰資材の施用により、草地のpHを維持し、適正施肥を行ってチモシーの衰退やマメ科率の低下を防ぐことが重要です。

一度、自分の草地のチモシーがシバムギに占領されていないか確認してみてくださいいかがですか？

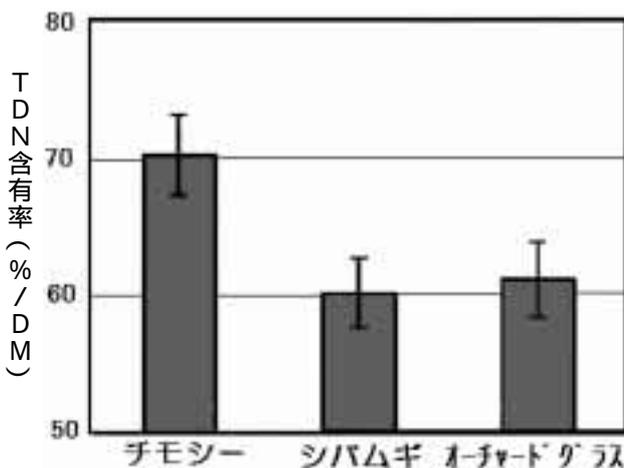


図2 再生草の草種別TDN含有率
（平成14年北海道普及推進事項）

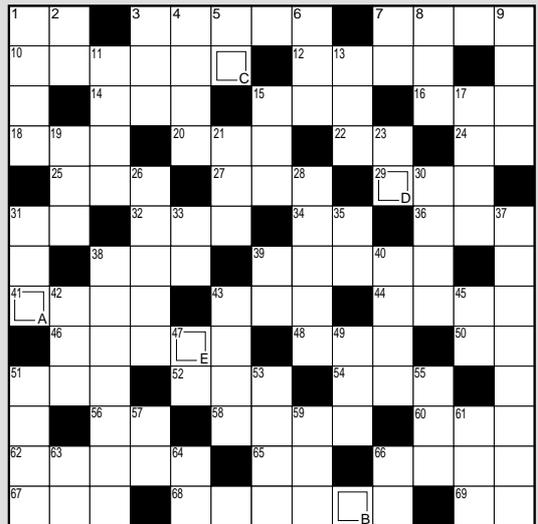
↑タテのキー

- 1 テニスやピンポンのプレーヤーが手に
- 2 物事をおさげにやってしまうと、後々もっとできたはずなのにと が残ってしまうことも
- 3 機械のパーツ
- 4 ためしにあれこれすること
- 5 そのことにかなり詳しい人
- 6 ドアをコンコンと
- 7 プリーツ
- 8 あちこち走り回ってニュースを集めてきます
- 9 あとでつじつまがあわないなんてことにならないようにみんなで をあわせておこう
- 11 名古屋名産の平たいうどん
- 13 こんな状態だけどもだ はあるさ
- 15 パイプの原料になるブライアーもこの低木の一種
- 17 近世、大名に仕えた医師
- 19 女性の衣装
- 21 “かばやき”にするのが定番
- 23 俳句で季節を表す言葉
- 26 砂糖の500倍もあまい人工甘味料
- 28 での根回しが突って交渉はすんなりと成立の運びに
- 30 大地に断層が生ずるほどのけいし揺れ
- 31 若葉マークのママならノイローゼになることも
- 33 は友を呼ぶ
- 35 夫と死別した女性をいった
- 37 TPOにあわせてすばやい機転
- 38 江戸時代は“すり”のことをこういった
- 39 1日歩き回れば棒になる
- 40 がっかりと力を落として
- 42 往来。彼とはこのところまったくがない
- 43 江戸で生まれ江戸で育った者が3代続くと
- 45 夏木立のなかでミンミンと
- 47 大道に店をだす “てきや”
- 49 根も葉もないいかげんうわさ
- 51 筆を入れさしておく筒
- 53 シャロック・ホームズやエルキュール・ポアロ
- 55 離れ離れに
- 57 あかがね
- 59 事故で 1週間のけがを
- 61 ものに色を与える成分
- 63 恵比寿が釣りあげてニコリと
- 64 生活を便利にしてくれる文明の
- 66 乙や丙よりも上位の評価

→ヨコのキー

- 1 老後くらい をして暮らしたいな
- 3 風流など解さない素朴な人
- 7 江戸から大阪までを6日で走った送達のスプリンター
- 10 メーターやラジオピーコンにたよった航空航法
- 12 酒に添えて出すちょっとした“お通し”
- 14 退路
- 15 あばたも
- 16 市川団十郎は成田屋、市村羽左衛門は橋屋、中村富士郎は天王寺屋
- 18 2度と立てないように確実に をさしておけ
- 20 会社所有のいくつかの施設を して
- 22 なにがしかの資金を
- 24 乾季
- 24 仏道の修行や法要をする所
- 25 互いにつらなりあったチェーン
- 27 川のなかに土砂が積み重なってできた州
- 29 個々のことばの起源
- 31 腰掛け
- 32 両刃の刀
- 34 スルメの原料に
- 36 まゆから取ったままのシルク
- 38 チャンス
- 39 “うみしか”とか“うみうさぎ”とも呼ばれる浅海の生きもの
- 41 ほんとうの利分
- 43 邪心を改めて仏の正道に帰依すること
- 44 塩漬けにした肉をいぶした保存食
- 46 宿泊料の安い粗末な宿屋
- 48 花札やトランプもこれの一種です
- 50 大豆を発酵させた調味料
- 51 吹筒に入れた矢を息でピューッと
- 52 大声でしかりつけること
- 54 麒麟とは1日に も走る駿馬だとか
- 56 へつつい
- 58 すべてをねだやしに
- 60 活魚作り
- 62 パナナのバーゲンセール
- 65 10を、英語で
- 66 ものこのよりのところ
- 67 高利
- 68 宿主に依存して生活するシラミやダニ
- 69 出家した修行者

クロスワードパズル



● 正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》 左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、企画課までFAX（8-2556）お願いします。

《締め切り》 平成16年10月20日まで

当選者の発表は「けねべつ」10月号誌上

JAのすがた

組合員 3月31日現在

- 正組合員数 209人
- 正組合員戸数 200戸
- 酪農家戸数 177戸
- 准組合員数 212人

(うち団体5)

乳牛頭数 7月調べ

- 経産牛 11,652頭
- 未経産牛 7,714頭
- 合 計 19,366頭

きりとり線

クロスワードパズル

住所 _____

氏名 _____

TEL _____

答え

A B C D E

きりとり線

クロスワードパズル8月号の答え

キンメダル

抽選の結果下記の方が当選いたしました。

すてきなプレゼントを差し上げます。企画振興係でお受け取り下さい。

齊藤 長市さん 河本 美幸さん 佐々木 綾さん 後藤 涼子さん 田中 祥太さん

あとがき

二番牧草収穫も終え、組合員皆様も「ホツ」としている頃ではないでしょうか？今年の牧草収量は充分と思われませんが、牧草の品質、成分が気になるところです。

さて、例年のことながら「秋」と言えば各種イベントが開催されています。週末はどの会場でも溢れんばかりの混みようです。先日行われた「計根別神社祭」も前夜祭での素人演芸、神輿、カラオケなどで盛り上がりました。当農協でも秋の収穫祭として「オータムフェア」の開催が予定され、楽しい一日を過ごして頂けるよう組合員皆様のご来場をお待ちしております。



落雷

8月1日、豪雨とともに計根別地域を襲った落雷。養老牛地区のある組合員さんの放牧地（立ち木）に雷が直撃。その傷跡が鮮明に残っており、木の幹が見事に裂けていました。木陰で非難していた乳牛3頭もこの落雷で感電死という大きな被害となった。



編集 / 計根別農業協同組合 総務企画部 企画電算課 企画振興係
発行日 / 平成16年9月30日



今年もあと三ヶ月を残すだけとなりましたが、一番草、デントコーンの収穫も順調に終了し、堆肥散布・雑草処理などに多忙な毎日と思います。

さて、十一月一日より家畜排泄物管理法が施行されます。当農協では八十六%の施設整備を終え、残る二十五戸の方も今月末を目処にリース事業、自己対応等で理解を頂き対応ができそうです。

しかし、施設整備が総てではないのが悩みです。糞尿の処理方法が一般の人や水産関係の人に理解されるとは限りません。先般NHKテレビで野積み堆肥は違法と大々的に放映されましたが、現実的に今の施設で一冬の堆肥を貯留することは不可能であり、一時的に畑へストックしなければなりません。この状況を一般の方は違法と見る可能性が

多分に考えられます。一時保管する場合でも道路から少しでも遠くに堆積し、シート等で被服をする様に心掛けて下さい。また、河川の近くや雨水等が流れ込む可能性がある場所への堆積は絶対に許されません。

私達酪農家も産業として、職業として後生に引き継ぐには自然・環境に充分に留意し共存していかなければ成り立たない事を心しなければなりません。

この糞尿処理問題は、これから先悩みの種ですが、自らも地域としても後ろ指をさされない様に対応しなければならず、早急の解決策も研究する必要があります。生産者の皆様の良識ある判断と行動を確信しております。

平成十六年九月三十日 縦縞 成喜